



えびはら一男後援会報

第9号
(通算17号)
内部資料

謹賀新年

本年も宜しくお願い致します。

市民の皆様には、健やかに平成20年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年9月の鹿沼市議会議員の選挙に於いて、後援会の皆様をはじめ多くの鹿沼市民の皆様にご支援を戴きました。心より感謝申し上げます。皆様の信託と期待に応えるべく、地域に密着した議員活動に邁進していきます。

えびはら一男への叱咤激励を引続きお願い致します。



定例会の概要

- ・平成19年第7回鹿沼市議会定例会は11月26日から12月18日までの23日間開かれました。
- ・損害賠償の額の決定及び和解など報告6件、2006年度(18年度)一般会計歳入歳出決算などの認定11件、19年度一般会計補正予算に関する議案など25件が上程され議決されました。

入札について

① 入札状況について、栗坪建雄総務部長の答弁がありました。

- ・ 18年度鹿沼市が発注した130万円以上の公共工事の平均落札率は87.91%です。
- ・ 18年度鹿沼市が発注した130万円以上の公共工事の内
 - 落札率95%以上の件数は、137件で発注全体に占める割合は 40.53%です。
 - 落札率95%未満85%以上の件数は、101件で発注全体に占める割合は、29.88%です。
 - 落札率85%未満75%以上の件数は、36件で発注全体に占める割合は、10.65%です。
 - 落札率75%未満65%以上の件数は、45件で発注全体に占める割合は、13.32%です。
 - 落札率65%未満の件数は、19件で発注全体に占める割合は、5.62%です。

また、随意契約による公共工事の件数は、9件で平均落札率は89.66%です。

平成18年度の県内各市の平均落札率は、

宇都宮市 84.76%、日光市 89.44%、矢板市 89.66%、那須烏山市 89.59%、下野市 89.00%
足利市 93.48%、栃木市 93.42%、佐野市 93.98%、小山市 94.05%、真岡市 96.23%、
那須塩原市 94.97%、さくら市 94.07%、

公表されている13市（大田原市は非公表）の内、鹿沼市 87.91%は、宇都宮市に次ぎ2番目に低い平均落札率になっています。

低い価格での落札が地元事業者に及ぼす影響について、

発注者としての行政サイドは、それぞれの工事案件に対し、指名された各社が単抜き設計図書に基づき、それぞれの会社が自社でその工事を履行するのに必要な額を積算し応札しており、低価格で契約された業者でも影響はないと考えています。

- ・ 19年度鹿沼市が既に発注した130万円以上の公共工事の平均落札率（10月31日現在）は84.52%です。
- ・ 19年度鹿沼市が既に発注した（10月31日現在）130万円以上の公共工事の内
 - 落札率95%以上の件数は、58件で発注全体に占める割合は、24.79%です。
 - 落札率95%未満85%以上の件数は、74件で発注全体に占める割合は、31.62%です。
 - 落札率85%未満75%以上の件数は、29件で発注全体に占める割合は、12.39%です。
 - 落札率75%未満65%以上の件数は、61件で発注全体に占める割合は、26.07%です。
 - 落札率65%未満の件数は、12件で、発注全体に占める割合は、5.13%です。

19年度 随意契約により既に発注した公共工事の件数は、6件で、平均落札率は94.01%です。

② 鹿沼市低入札価格調査制度について 栗坪建雄総務部長の答弁

低入札価格調査制度とは、工事または製造の請負の契約を競争入札にする場合において、予定価格の範囲内で最低価格をもって申込みをした者の価格が、当該契約の内容に適した履行がされない恐れがあると認められる場合の調査基準価格を設定した入札制度です。

鹿沼市では、低入札価格取扱要綱を制定し平成13年4月から予定価格130万円以上の工事または製造の請負契約を締結しようとする場合に適用しています。

改札において、最低入札者の価格が失格基準価格以上、調査基準価格未満の場合は、当該最低価格入札者の落札を保留とし、当契約の内容に適合した履行がされない恐れがあるかどうかについて、当該最低入札者から履行可能申立書等の提出を受け、書類やその価格により入札した理由等を契約調査職員が調査し、鹿沼市低入札価格調査委員会において審査決定します。

低入札価格調査基準の算定方法については、それぞれの設計書に基づき算定していますがその算定方法については非公開としています。

県内の14市中13市において低入札価格調査制度を導入している。この13市の内、低入札価格調査基準の算定方法を公開しているのは、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、日光市、那須塩原市、さくら市、下野市、

の8市で小山市はこの制度を導入していません。

鹿沼市は18年度において、予定価格130万円以上の338件で低入札価格調査制度により入札を実施した全ての案件で契約をしています。19年度においては、10月31日現在予定価格130万円以上の234件で低入札価格調査制度により入札を実施し、全ての案件で契約をしています。

③ 鹿沼市入札適正化委員会について 栗坪建雄総務部長の答弁

鹿沼市が発注する建設工事の入札および契約の過程並びに契約の内容の透明性を高めると共に、入札に参加しようとしたまたは契約の相手方に成ろうとする者の間の公正な競争を確保するため平成17年度に鹿沼市入札適正化委員会を設置しました。委員会は知識経験を有する者など委員4人で組織され平成18年3月から年2回開催されています。

委員会の所管事務は鹿沼市が発注した建設工事に関し入札および契約手続の運用状況等についての報告を受けること、公共工事のうち委員会が抽出したのものに関し一般競争入札参加資格の設定理由および経緯、指名競争入札に関する指名の理由および経緯、並びに随意契約の理由等について審議すること、談合への対応について審議すること等です。

最低制限価格の内容については、予定価格130万円未満の工事に適している入札制度で平成18年3月に開会した委員会に於いて工事の入札手順図より説明しています。

平成18年7月に開会した委員会に於いて調査基準価格及び失格基準価格の設定の考え方について説明しています。

えびはら一男の発言 入札について

今回、入札について一般質問を作製するにあたり、殆ど鹿沼市のホームページで調べました。鹿沼市の入札状況による工事等件名、開札順、業者名、入札書記載金額、落札者など全て開示されていますし、予定価格事前公表の方法、指名業者の公表時期等鹿沼市の入札は、透明性が高く公正公平であると信じています。

入札の競争性において、公共事業削減の中で、鹿沼市をある一面で支えてきている土木建築業者にとって、競争は厳しいものとなっていると思います。

ダンピング受注による公正な取引秩序の阻害、下請け業者へのシワ寄せ、労働条件の悪化、安全対策の不徹底等を未然に防止しなければなりませんし、鹿沼市発注工事において談合情報が報道機関に寄せられ、紙上に掲載されることがあります。鹿沼市民にとって非常に残念なことであり、公共工事に対する市民の信頼を失わせます。談合はあってはならないことであり、業者にとっても決してプラスになるものではありません。

それだけに透明性、公平性のさらなる確保・徹底は大変重要だと思います。

ところで、入札適正化委員会の委員は、公認会計士さん、弁護士さん、税理士さん、大学教授です。会議の概要については、ホームページで検索できます。

鹿沼市入札適正化委員会条例施行規則によりますと、定例会議等は非公開とされ、委員は職務上知り得た秘密について職を退いた後も他人に漏らしてはならないことになっています。

他の市では公開されていることが、鹿沼市においてこの入札適正化委員会、信頼できる第三者機関にも、調査基準価格の設定、計算方法を知らせていない。最低制限価格の積算内容も知らせていない。このことは公開されています「鹿沼市入札適正化委員会会議録」から読み取れます。

私は、入札・契約の公平性、透明性の確保、競争性の向上、不正行為の排除の徹底、適正な施工の確保等をさらに図ることをお願いし、今後もしっかりと見守っていきたいと思います。

防災公園の整備について

渡辺政夫都市建設部長の答弁

防災公園整備の県への要望の詳細ですが、防災公園とは地震に起因して発生する市街地火災などの2次災害における国民の生命財産を守り都市の防災構造を強化するために整備される広域防災拠点、避難地、避難路としての役割を持つ都市公園および緩衝緑地を指します。

鹿沼市では都市の防災機能の向上により安全で安心できる都市づくりを目指し、防災施設の拠点と自然環境をテーマとした防災公園整備を考えています。

現在、防災公園整備予定地周辺では花木センターが平成19年度より再整備事業に着手しています。広域の防災拠点および避難地等として考えれば規模も大きくなることから、平成18年度より県に対し花木センター西側に防災公園の整備をしていただくよう要望しているが現在まで整備の方針は決まっていません。

引き続き要望していきたいと考えていますが、県施工として整備が困難であれば来年（20年）度より国庫補助事業で実施する富士山公園および新鹿沼駅西土地地区画整理事業地内の4ヶ所の街区公園の整備が平成24年度に完了予定であることから、その後市の事業として整備するかどうか検討していきます。

鹿沼市立粟野第一小学校改築について

金子孝之教育次長の答弁

本年（19年）度の計画と進捗状況については、20年1月に校舎および屋内運動場の基本設計、実施設計に着手すると共に改築予定地である旧粟野中学校跡地の地質調査を実施する予定である。

後年度の計画と完成見込年度について、平成20年度に実施計画を完了させ、平成21年度改築工事に着手、平成22年度には校舎、屋内運動場とも完成する見込みです。

改築における課題については、整備にあたり公立学校施設関係法令および小学校施設整備指針に基づき教育の進化や情報化の進展に対応できる学習環境の整備、さらに防犯防災への対応や自然環境にも配慮した学校づくりのために、今後学校PTA等と連携を図りながら整備を進める。

再質問に答えて

通学路の安全対策については、関係部局（都市建設部）と協議をしながら進めていく。合わせて県に対しても要望していく。

学校プールは、B&G海洋プールを利用していく。体育の授業等に対応していく規格等であるが、長さ25mの6コースあるので授業等には差し支えないと判断している。B&Gは昭和59年5月に完成し現在も利用

しており安全、衛生管理面は万全を期している。修繕箇所、不都合が生じた場合はその都度対応していく。

学校の規模については児童の人数により教室整備等が決まってくるので学校区域の児童数を対象にして設計を進めていく。

旧粟野中学校跡地を利用することにより面積は5,000㎡程広くなるので適正な配置を考えていく。



えびはら一男の発言 粟野第一小学校の跡地利用について

粟野第一小学校が旧粟野中学校跡地に改築されることは、大変喜ばしいことです。既に計画が進捗しています今の時点での議論はありません。

ただ、粟野第一小学校は、夏祭り・盆踊りの開催場所として、また旧粟野町の消防団の夏季点検、通常点検等の旧粟野町の様々な行事の活動拠点の中心施設でもありました。

粟野第一小学校が、旧粟野中学校跡地に改築されることが地区住民に示されたのは、自治区再編が進められ、粟野支所が一年ほどで廃止され、4地区ごとのコミュニティセンターを中心とする組織に再編される時期に重なっていたように思います。いわば、融和と一体感の中で、鹿沼市の制度を理解し取り入れ始めた、戸惑いのある時期であったかと思えます。したがって住民の意識の取りまとめが大変難しかった時期であったかと思えます。

今後の小学校跡地利用につきましては、小学校の移転・改築と、同時進行的に、検討を開始していただきたいのです。

旧粟野町を編入合併するにあたり新市のまちづくりの方向を示した「かぬま・あわの新市まちづくりプラン」を当面の指針とし、19年3月に策定されました第5次鹿沼市総合計画“ステップ・アップ”ビジョンの基本計画で明らかになっています主要事業のうち、この小学校跡地を活用することにより市民への行政サービスの向上をさらに図れる事業もあるでしょう。そしてまた、行政の導きにより、行政と地区住民との話し合いの中で、これからの地区のありようについて意見を交換しながら、方向性を見だし、新たな事業の展開が構築される可能性も大いに期待したいのであります。

今、旧粟野町の中心であった地区では、役場がなくなり、今度小学校が移転するという事で、この地区が寂れてしまう危機感と、寂しさが漂っているような気がします。それらの事を解消する意味からも地元鹿沼市民、地元各自治会の理解と協力を得ながら“開かれた市政”“市民と共につくる市政”の実践を通し、この粟野第一小学校の解体、整備を検討し、“合併してよかった”という結論を新しい鹿沼市民の前に少しでも早く示していただければと思います。

阿部和夫鹿沼市長の答弁



現在の粟野第一小学校の跡地利用については、粟野地域における立地条件や住民の要請等から、地域に密着したより有意義で利便性の高い活用を図っていきたい。

現在、粟野第一小学校の出入口の道路は狭隘であることから、将来公共の用に供する利用目的を考慮した場合、進入路としての十分な区域を確保する必要から土地を購入した。

このようなことから公共の用に供する利用を考え、消防の粟野分署の建設等も視野に入れ検討していきたい。

旧粟野中学校の跡地に、現在の小学校より広い敷地を活用し、粟野地区財産区等の協力を得ながら地場産材の利用を図り、木造木質化の立派な教育施設の完成を期待しています。



鹿沼市市長選挙

告示 5/18(日)

投票日 5/25(日)

阿部和夫鹿沼市長は、12月4日(火)の定例議会一般質問において、任期満了に伴う2008年(平成20年)5月の鹿沼市長選挙の3選出馬を表明しました。

えびはら一男は、平成16年10月の鹿沼市旧栗野町法定合併協議会での関係以来、平成18年から鹿沼市議会議員としての活

動を通し、阿部和夫鹿沼市長の述べている「第5次鹿沼市総合計画を着実に進め『ここが一番、まして一番、さすが一番』の鹿沼市づくりこそが私に与えられた使命であり、責務である」に賛同し、阿部和夫市長3選出馬を支援していきます。

後援会会員の皆様のご理解と応援を宜しくお願いいたします。



先生方のご指導を戴きながら、しっかりと政治活動を続けていきます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

ご成人おめでとうございます

1月14日(日)鹿沼文化センターにて成人式が行われ、915名の新成人が参加しました。



あんな話
ごんな話

地域活動を掲載しますのでお電話、文書、またはえびはら一男の公式ホームページを立ち上げましたのでご覧いただき、あなたのご意見・ご要望等を調査しお答えします。

☎ 85-3543 FAX 85-3152 携帯 090-3149-3493

ホームページ www.ebiharakazuo.jp えびはら一男 まで